

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分
 【発行日】平成 25 年 5 月 2 日 (2013.5.2)

【公開番号】特開 2011-202884 (P2011-202884A)
 【公開日】平成 23 年 10 月 13 日 (2011.10.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-041
 【出願番号】特願 2010-70487 (P2010-70487)
 【国際特許分類】

F 2 4 F 11/02 (2006.01)

【F I】

F 2 4 F 11/02 N
 F 2 4 F 11/02 1 0 2 X
 F 2 4 F 11/02 1 0 2 T

【手続補正書】
 【提出日】平成 25 年 3 月 14 日 (2013.3.14)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

室外熱交換器およびこの室外熱交換器に送風する室外ファンを有する熱源機を複数備えた冷凍サイクル装置において、

前記室外ファンの回転数を、前記各熱源機の配置状況に応じて調整することを特徴とする冷凍サイクル装置。

【請求項 2】

前記各室外熱交換器の温度を検出する複数の温度検出手段と、
試運転時、前記各温度検出手段の検出温度のうち最低値を検出する最低値検出手段と、
前記各温度検出手段の検出温度のうち前記最低値検出手段により検出された最低値を除く他の検出温度が同最低値となるように、その最低値が検出された室外熱交換器を除く他の室外熱交換器に対応する室外ファンの回転数を調整する回転数調整手段と、
前記回転数調整手段により調整された室外ファンの回転数を前記試運転後の同室外ファンの回転数として設定する回転数設定手段と、
を備えていることを特徴とする請求項 1 に記載の冷凍サイクル装置。

【請求項 3】

前記試運転は、当該冷凍サイクル装置の据付け時に行われる前記室外熱交換器を凝縮器として利用する運転であることを特徴とする請求項 2 に記載の冷凍サイクル装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 8】

上記目的を達成するために、請求項 1 に係る発明は、室外熱交換器およびこの室外熱交換器に送風する室外ファンを有する熱源機を複数備えた冷凍サイクル装置において、前記室外ファンの回転数を、前記各熱源機の配置状況に応じて調整する。